

青森県高体連
夏季競技大会

光星初出場V

サッカー女子



強豪に大差、鮮烈デビュー

初公式大会出場となった八学光星が鮮烈なデビューを飾った。県高総体10連覇中の強豪を大差で下し、堂々の優勝。畑中孝太監督は「思い切りよく、自信を持って戦えた結果。選手は頼もしい姿を見られた」と満面の笑みを浮かべた。昨年4月に創部したが、部員が7人しか在籍していなかったため、これまでは八学女子と共に活動してきた。今年4月に12人の新入部員が集まり、今回が悲願の初出場だった。

チーム唯一の3年、宮野日和王将は「この優勝は後輩や監督たちがいてそのもの。チームが一つになった」と感謝の言葉を口にした。試合ではパスを回し、ピッチを広く使ったサッカーを展開。相手守備を乱し、得点を逃さなかった。前半9分に先制点を奪った。初公式大会出場での優勝を果たした八学光星は「五戸町ひばり野公園陸上競技場」。



【サッカー女子決勝・千葉一八学光星】後半ロスタイム、八学光星は宮野日和王将がゴールを決めて4-0とする

た「W根本なきさ(1年)は「練習通りのゴールを奪えた。チームに勢いを与えられた」と納得の表情だった。新型コロナウイルスの影響で、今年度は代替大会という形で開催となったが、DF三浦夏海は「八学光星の新たな歴史を刻む」と強調。感染症の収束を願って、来年は高総体で初優勝して、インターハイに出場したい」と力強く語った。(上村公徳)

集大成のゴール 唯一の3年 宮野主将
○八学光星唯一の3年、勝共に出場はなかった。宮野日和王将は後半ロスタイムに、ベンチからチームメイトを支える宮野の姿を見た。畑中孝太監督は「決勝の最後数はプレーさせてあげたかった」と試合前から起用を決めていた。後輩たちも復帰を待ちわびていた。「リードを広げれば主将をピッチに立たせてあげられる」。監督と仲間思いが重なり、ゴールにつながった。宮野は試合後、「出場できるとは思っていなかった。これまでのサッカー人生で最高の試合になった」と喜びをかみ締めていた。

青森県高校総体の代替大会は21日、五戸町と八戸市フットボルの八戸地区予選でサッカー女子、ソフトボールの計2競技が行われた。サッカー女子卓大会は八学光星が頂上に立ち、千葉が準優勝だった。3位に

は工大一が食い込んだ。ソフトボルの八戸地区予選では千葉が優勝、ウルストラが準優勝だった。

(取材班)

サッカー

▽決勝
八学光星 42100 千葉 210

▽3位決定戦
工大一 7112 百石三